

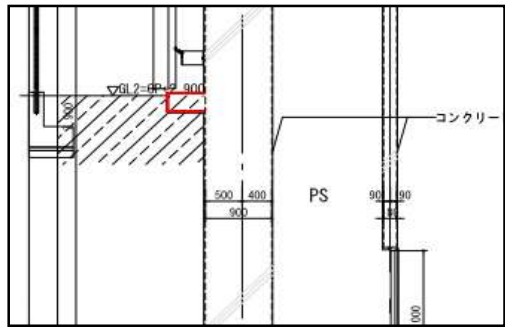
2020年 7月21日

阪神高速道路株式会社

入札説明書(技術提案書等含む)及び設計図書等に対する質問回答書

工事名 : 海老江換気所新築その他工事	
質問提出日:2020年 7月 8日 質問回答日:2020年 7月21日	
質 問	回 答
番号1 掘削時のSMWソイルセメントはつりの数量とその発生ガラ処分費、運搬費が設計書に計上されておりましたが、必要だと考えてよろしいでしょうか。	番号1 標準案においてはSMWソイルセメントはつり数量については根切に含まれており、発生ガラ処分費、運搬費については、計上していません。施工時にはつり、ガラ処分・運搬が必要となった場合については、受発注者協議のうえ、設計変更することを考えています。
番号2 A-52、A-28 5階平面詳細図及び矩計図(6)で、2通／C通 前室～屋上に小階段が記載されておりますが、コンクリート強度及び配筋要領を御指示下さい。	番号2 5階前室内の踏み段(3段)のコンクリート強度は、Fc27(スラブと一体)とお考えください。 なお、金額を記載しない設計書P14、および意匠図A-72について、別添正誤表のとおり修正します。
番号3 A-52、A-28 上記小階段の型枠について、設計書ではどの項目に含まれていますでしょうか。	番号3 5階前室内の踏み段(3段)の型枠は、型枠(普通合板型枠 ラーメン構造 地上軸組部)に含まれるものとお考えください。 金額を記載しない設計書P19、20について、誤りがありましたので、別添正誤表のとおり修正します。
番号4 A-71 部分詳細図(2)＜D2-7＞可とう継手詳細図で、可とう継手下部に非加硫ブチルゴム製止水板の記載がありますが、止水板の巾及びメーカー品番を御指示下さい。	番号4 止水板の幅は200mmとお考え下さい。 メーカー及び品番の指定はございません。
番号5 A-71 上記止水板について、施工範囲は底盤部分のみと考えてよろしいでしょうか。 立上り壁まで連続して設置する必要はないのでしょうか。	番号5 意匠図A-71 D2-7に記載のある止水板を含む可とう継手については、意匠図A-25、41、43に記載のとおり、外部に面する底盤、立上り壁、天井に設置するものとお考えください。

質 問	回 答
番号6 A-71 上記止水板について、設計書に項目が見当たりません。76. 3mを正と考えてよろしいでしょうか。また、その場合設計変更されるのでしょうか。	番号6 意匠図A-71 D2-7 注記に記載のとおり、可とう継手、スリップバー(防護管、スパイラル筋含む)、止水板については、換気所新築工事には含まれていないものとお考えください。 なお、2020年7月2日掲載の受付番号4質問回答書「番号90」(金額を記載しない設計書P49)について、誤りがありましたので、別添正誤表のとおり修正します。
番号7 A-71 上記止水板について、端部はどのように仕舞したらよろしいでしょうか。	番号7 上記質問番号5の回答をご参照ください。
番号8 設計書22 A-86 設計書22で、止水板が286m計上されていますが、仮設計画図(2)に記載の切梁位置において施工上打継を必要とするため、これを考慮して数量を算出すると543mとなります。543mを正と考えてよろしい また、その場合設計変更されるのでしょうか。	番号8 ご質問のとおり、金額を記載しない設計書P22について、誤りがありましたので、別添正誤表のとおり修正します。
番号9 設計書22 A-86 設計書18で、打継面処理が986m²計上されていますが、仮設計画図(2)に記載の切梁位置において施工上打継を必要とするため、これを考慮して数量を算出すると1195m²となります。1195m²を正と考えてよろしいでしょうか。	番号9 ご質問のとおり、金額を記載しない設計書P18について、誤りがありましたので、別添正誤表のとおり修正します。
番号10 埋戻し土、盛り土は、仮置き場での積込から現場までの運搬は契約後設計変更でしょうか。現場での土砂敷き均しだけ見込めばよろしいでしょうか。	番号10 海老江換気所新築工事 特記仕様書補足事項 第3章工事 3-3土工・地業 4)に記載のとおり、発生土の運搬費・仮置き費・処分費を設計変更にて追加します。 金額を記載しない設計書のとおりとお考えください。
番号11 設計書10 土工事の建設発生土運搬・処分(建設汚泥再資源化中間処理施設)5781m³について、土留壁(SMW)工事に伴い発生する建設汚泥と考えてよろしいでしょうか。	番号11 ご質問のとおりとお考えください。

質 問	回 答
番号12 設計書10 土工事の建設発生土運搬・処分(建設汚泥再資源化中間処理施設)について、処理施設の指定はありますか。運搬距離、処分費に係ります。	番号12 金額を記載しない設計書P10に記載の建設発生土運搬・処分については、海老江換気所新築工事 特記仕様書補足事項第3章 工事 3-7 発生材処分に記載のとおり、「都道府県知事の許可事業許可を受けた本工事施工箇所近傍の再資源化中間処理施設」であり、具体的にお示しすることはできません。なお、上記の特記仕様書補足事項に記載のとおり、再資源化中間処理施設については、契約後に監督員の承諾を得てください。
番号13 地業工事砕石運搬の砕石仮置き場の住所を御教示ください。	番号13 北区中津3丁目26付近～北区中津2丁目8付近とお考えください。
番号14 設計書27 S-41 設計書で、溶融亜鉛メッキ高力ボルト F8T M16 L=50は71本計上されておりますが、屋外鉄骨階段詳細図のササラ接合部より算出すると、136本となり、ロス込み数量は141本となります。141本を正と考えてよろしいでしょうか。御指示ください。	番号14 金額を記載しない設計書のとおりとお考えください。 なお、「金額を記載しない設計書」に記載している数量については、契約後に監督員と協議の上、必要であれば数量精算しますので、現記載数量を正として下さい。 また、金額を記載しない設計書P27、28の溶融亜鉛メッキ高力ボルトについて、誤りがありましたので、別添正誤表のとおり修正します。
番号15 A-27 (外 部) 質疑回答4-48で図A-27外装ルーバー下部の赤線部分についての質疑がございますが、赤線部分が不明です。2階にある庇は床面が塗膜防水のため、庇ではなく図A-27 1通り GL=OP+2900のコンクリート跳ねだし部分のことでしょうか。	番号15 2020年7月2日掲載の受付番号4の「番号48」における赤線部分は、下図のとおりです。 2階にある庇は意匠図A-70 D1-4外壁小庇に記載の外壁小庇とお考え下さい。 
番号16 A-27 上記質疑が正の場合、質疑回答4-48で外装ルーバー下部の床仕上がコンクリート金鋺押え仕上と御回答いただきましたが、設計書では計上されております設計変更されるのでしょうか。	番号16 GL=OP+2900の外装ルーバー下部の床面に関する質疑と解釈してお答えします。 金額を記載しない設計書P50床コンクリート直均し仕上に含まれるものとお考えください。

質 問	回 答
番号17 A-27 上記質疑が正の場合、質疑回答4-48で外装ルーバー下部の揚裏が打放補修 素地と御回答いただきましたが、地中になるため打放補修は不要と考えてよろしいでしょうか。	番号17 GL=OP+2900の外装ルーバー下部の床面に関する質疑と解釈してお答えします。 2020年7月2日掲載の受付番号4の「番号48」のとおりとお考えください。
番号18 A-3 特記仕様書 9防水工事において、⑨地下外壁防水が自閉性樹脂塗膜防水(先付け工法)と記載されていますが、SMW面に先付けするのでしょうか。 またメーカー・品番を御指示下さい。	番号18 ご質問のとおりとお考えください。 メーカー及び品番の指定はございません。
番号19 設計書51 A-70 左官工事 壁の防水形複層塗材Eについて、設計書に2857m²計上されておりますが、外壁だけでなく、図A-70 部分詳細図(1)D1-3換気塔頂部に記載されている外壁面立上りの内側にも必要なため2944m²程度になると考えられます。 2944m²と考えてよろしいでしょうか。	番号19 金額を記載しない設計書のとおりとお考えください。 なお、意匠図A-70 D1-3換気塔頂部に記載の外壁面立上りの内側の防水型複層塗材Eについても含まれるものとお考えください。
番号20 設計書44 屋根及びとい工事 硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)径100について、設計書に236m計上されておりますが、下記の通りに算出すると266m程度になると考えられます。下記の通りと考えてよろしいでしょうか。 ○R2F屋上～B1F 南面A通り: 32.65m×2本=65.3m ○R1F庇～B1F 西面1通り: 28.65m×1本=28.7m ○R1F屋上～B1F 北面D通り: 28.65m×2本=57.3m ○4F庇～B1F 西面1通り: 19.65m×1本=19.7m ○4F屋上～B1F 南面A通り: 24.65m×2本=49.3m ○4F屋上～B1F 北面D通り: 24.65m×1本=24.7m ○4F屋上～1F 北面D通り: 21.00m×1本=21.0m	番号20 金額を記載しない設計書のとおりとお考えください。
番号21 A-71 部分詳細図(2)D2-7可とう継手詳細図において、防護管VU40φの記載がございますが、設計書に計上されておりません。必要と考えてよろしいでしょうか。また、必要な場合は設計変更されるのでしょうか。	番号21 上記質問番号6の回答をご参照ください。
番号22 A-71 部分詳細図(2)D2-7可とう継手詳細図において、スパイラル筋の記載がございますが、建築工事側150φ及び土木工事側100φ共に建築工事に含むものと考えてよろしいでしょうか。	番号22 上記質問番号6の回答をご参照ください。

質 問	回 答
番号23 A-71 可とう継手部 スリップバーについて、底版内での取付高さが不明です。御指示下さい。	番号23 現時点においては未定です。 取合い相手方となるトンネル躯体、換気ダクト躯体との調整の上、決定いたします。
番号24 A-71 可とう継手について、参考メーカー及び品番を御指示下さい。	番号24 上記質問番号6の回答をご参照ください。
番号25 A-70 部分詳細図(1)D1-15点検トラップにFB-9×50を鉄筋に溶接と記載されておりますが、躯体工事中のFB打ち込み精度確保が困難なため、後打ちアンカーによる固定としてよろしいでしょうか。	番号25 意匠図A-70 D1-15のとおりとお考えください。 なお、現場の納まり、取合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議するものとし、必要に応じて設計変更するものとお考えください。
番号26 設計書70 A-82 設計書 土壌改良土において、設計書に264kgと計上されておりますが、下記の通りに算出すると132kg程度になると考えられます。 下記の通りと考えてよろしいでしょうか。 ○ヒラドツツジ : 115本×0.56kg/本=64.4kg ○シャリンバイ : 115本×0.56kg/本=64.4kg ○シラアシ : 2本×0.80kg/本= 1.6kg ○ヤブツバキ : 1本×0.80kg/本= 0.8kg ○モッコク : 1本×0.80kg/本= 0.8kg	番号26 金額を記載しない設計書のとおりにとお考えください。
番号27 設計書79 設計書 建築現場管理費において、作業用通行料とはどのような内容でしょうか。	番号27 海老江換気所新築工事 特記仕様書補足事項 第4章 諸経費 4-4作業用通行料 に記載のとおりです。